

2027年度「第26回聞き書き甲子園」にて 高校生の受け入れと「名人」推薦に協力する市町村(地域)を公募 ～地域文化の継承、次世代育成、関係人口の創出、移住定住に寄与する取組み～

聞き書き甲子園実行委員会(農林水産省等で構成)は、令和8年5月8日から9月4日の間、第26回聞き書き甲子園(令和9年度)の開催に協力いただける市町村(地域)を募集します。

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が森・川・海の「名人」を訪ね、その知恵や技、生き方を記録し、発信する活動です。令和元年度からは、名人の推薦と高校生の受け入れに協力いただく市町村(地域)を全国から公募し、農山漁村地域と若い世代をつなぐ交流の場を創出してきました。

今回の公募では、高校生が「聞き書き」を行う名人の推薦と、高校生の受け入れに協力いただく市町村(地域)を募集します。

本取り組みは、

- ・ 地域文化・知恵の継承
- ・ 若者との交流による次世代育成
- ・ 地域への関心を高める関係人口の創出
- ・ 地域の魅力発信による移住定住の契機づくり

といった効果が期待され、これまで多くの自治体で活用されています。



■応募期間: 令和8年5月8日(金)～9月4日(金)17時

■公募対象

市町村(地域)を対象とし、「聞き書き」の対象となる名人を推薦いただくことが要件です。複数の市町村連盟での申請や、市町村を窓口として地域自治組織・市民活動団体・事業協同組合等の「地域団体」が応募することも可能です。

■協力内容

選定された市町村(地域)には、公募要領の別添「名人推薦要領」に基づき、令和9年1月末までに名人を推薦いただきます。また、令和9年度に実施する第26回「聞き書き甲子園」において、高校生の取材にご協力いただきます。

■応募方法

「第26回聞き書き甲子園」協力市町村(地域)公募要領に定める申請書(様式1)及び申請書地域概要説明書(様式2)を聞き書き甲子園実行委員会事務局あてにメールにて提出してください。

詳しくは、「聞き書き甲子園」ウェブページ(URL: <https://www.kikigaki.net/join>)をご覧ください。



主催: 聞き書き甲子園実行委員会

(農林水産省/文部科学省/環境省/公益社団法人国土緑化推進機構/NPO法人地球緑化センター)

※同事業は(株)ファミリーマートの募金協力・企業寄付と、複数の企業・団体の協力支援により実施しています。

[お問い合わせ]

聞き書き甲子園実行委員会事務局(NPO法人地球緑化センター内) 担当: 小形・大家・三木

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-3 金谷ビル2階201 TEL: 03-5542-0132 メール: contact@kikigaki.net



夏の事前研修では「聞き書き」の手法について学ぶ



名人を訪問し、一対一で話を聞く



来年3月下旬には成果発表会を開催予定

■「聞き書き甲子園」とは

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が森・川・海の名人を訪ね、自然とともに暮らす知恵や技、心を「聞き書き」する活動です。毎年、名人の推薦と高校生の受け入れに協力する市町村を公募し、地域が推薦する名人を高校生が一对一で訪問し、「聞き書き」します。本年度第25回開催では、全国12地域と連携し、65名の名人を同数の高校生が聞き書きします。

■「聞き書き」とは

「聞き書き」の基本は、一対一のコミュニケーションです。高校生は、名人の「なりわい」を対話形式で取材します。名人との対話はすべて録音し、その言葉を一言一句もらさず書き起こし、名人の語り口を活かしながら作品とします。聞き書き作品には、名人の人生観や地域文化がそのままの言葉で記録され、高校生は、作品づくりを通じてその人生と向き合い、「働くこと」や「生きること」の本質を学びます。

■実施スケジュール

2026年	5～9月	協力市町村(地域)公募
	10月	協力市町村採択
2027年	1月	名人推薦
	5月	第26回聞き書き甲子園参加高校生募集開始
	7月	参加者の決定
	8月	事前研修の実施
	9～11月	取材・作品づくり
	12月	聞き書き作品提出
2028年	3月	成果報告会(フォーラム)開催

市町村(地域)が推薦する 森・川・海の「名人」とは？

森・川・海などの自然と深く関わり、その知恵や技を生業として継承・実践してきた概ね50歳以上の方を推薦いただきます。

《職種例》

①森・川・海にかかわる仕事

森に関わる職種：林業、炭焼き、木こり、狩猟、きのこ栽培、山菜採りなど

②川・海にかかわる仕事

漁師、海女、川漁師、ノリ養殖、カキ養殖、漁具づくりなど

③地域自然資本や生態系サービスに則った仕事

薬草採り、鷹匠、伝統的な製法による食料品作り(発酵食品、保存食品、郷土料理、山菜料理等)、茅葺き、紙漉き、がま細工、草木染め、木炭・竹炭を利用した製品作り、野鍛冶等

高校生と名人の出会いが 地域の元気につながります！

高校生は、「聞き書き」を通して「名人」の生きざま(人生)を受け止めます。「森が泣いている」「村が寂しくなった」と語る「名人」の思いに少しでも応えたいと、里山里海の保全や地域活性化などに取り組む卒業生の活動も生まれました。

「聞き書き」によって結ばれる名人と高校生の絆は、若者にとってその地域を「第二の故郷」と感じさせる特別なものへと変えていきます。まるで本当の祖父母と孫のような交流を続け、地域へI・Uターンを果たすなど、将来の関係人口につながる地域への愛着を育みます。

